

■発行:一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団

〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館

■Publisher: Kumamoto International Foundation

4-18 hanabata-cho, chuouku, kumamoto city, 860-0806

TEL:096-359-2121/ FAX:096-359-5783

e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp URL: <http://www.kumamoto-if.or.jp/>



平成 28 年熊本地震により被災された 皆さまに心よりお見舞い申し上げます

平成27年度 多文化共生セミナー 「多文化共生について考える～移民?難民?考える!～」報告

私達熊本市国際交流振興事業団では平成16年度(2004年)より「すべての人が安心して快適に暮らせる開かれた社会の実現」を目標に多文化共生事業を開始しました。



毎年2月を多文化共生月間と位置付け、様々な多文化共生社会づくりへの取組を写真やデータで紹介する多文化共生パネル展の開催、平成20年(2008年)からは市民の皆さんと“多文化共生”について学び・考える多文化共生シンポジウムを開催しています。第1回目の多文化共生シンポジウムのテーマは「日本社会の外国人～外国人に優しい社会は日本人にも優しい!～」その後「グローバルな視点から地域を考える」、「熊本の素晴らしいところ、良いところいっぱいあるよ」、「国際結婚」、「医療通訳の必要性」、「多文化共生社会づくりと外国人の人権」など“その時・その時”の時代を捉えたテーマを取り上げてきました。今回は“移民”をキーワードに、多文化共生セミナーを開催しました。現在、日本は、海外からの移民を正式に受け入れておらず、外国人への日本語教育や生活オリエンテーション等の統合施策を行っていません。

一方、労働力不足を補う為に海外から人材が必要とされています。実際、熊本県下でも農業、工業等の分野で働く技能実習の在留資格で在留する外国人が増加しています。この様な在住外国人の増加に対応した地域の多文化共生に必要な取組は何かを考えるきっかけとする為、今回、大阪・神戸ドイツ連邦総領事 インゴ・カールステン氏に基調講演で多くの移民・難民を受入れているドイツの移民難民の実情についてお話をいただき、熊本で外国籍住民をホスト社会として受入れに必要な取組について考えるヒントとし、後半のパネルディスカッションでは、ファシリテーターに長岡国際センター長 羽賀友信氏、パネリストとしてインゴ・カールステン氏に加え、コムスタカ外国人と共に生きる会代表 中島眞一郎氏、熊本学園大学教授申直氏をお迎えし、日本の移民政策の現状とドイツ、韓国、オーストラリアの移民政策との比較、検討を行い、具体的に今後、熊本がめざす多文化共生社会について



実現の為にはどのような政策、施策が必要かディスカッションを行い外国人と共に暮らす多文化共生社会を考える一助としました。

《特集》 多文化共生セミナー

「多文化共生について考える」

～移民?難民?考える!～・・・P1～P3

国際交流員(CIR)メッセージ・・・P4

ちょっといわせてはいよ①・・・P5

・「障がいのある方の作品で世界とつながる」

「UMU(うむ)」楠田 裕輝さん

(熊本障がいサポーター、株式会社 調べ考房)

目次

Contents

ちょっといわせてはいよ②

/link カフェ商品紹介・・・P6

世界を知る～It know the world～・・・P7

・「はじめまして! JICA デスクです!」

国際協力推進員 阿南 栄子さん

ちょっと日本語/きふプロ

平成 28 年度賛助会員・・・P8